

I 第6週の発生動向 (2017/2/6~2017/2/12)

- インフルエンザについては、東地方保健所+青森市保健所管内、五所川原保健所管内で新たに**警報**が発令されました。上十三保健所管内、むつ保健所管内では**警報**が、弘前保健所、三戸地方保健所+八戸市保健所管内では、**注意報**が継続しています。迅速診断キットによる型別の報告では、A型が圧倒的に多い状況ですが、B型の報告も継続しています (V 県内インフルエンザ情報を参照)。
- 感染性胃腸炎については、県全体では、2週連続して減少しましたが、第6週は、再び増加していることから注意が必要です。特に、五所川原保健所管内では前週の4.25から8.40へ大幅に増加しました。

II 第6週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ	435	33.46	290	19.33	384	25.60	223	31.86	346	38.44	284	47.33	1962	30.18	19
小児科	RSウイルス感染症	2	0.25	1	0.11	4	0.40			1	0.17			8	0.19	2
	咽頭結膜熱	2	0.25	2	0.22	2	0.20	2	0.40					8	0.19	-28
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	1.00	24	2.67	17	1.70	9	1.80	2	0.33	9	2.25	69	1.64	7
	感染性胃腸炎	39	4.88	17	1.89	56	5.60	42	8.40	19	3.17	9	2.25	182	4.33	11
	水痘	4	0.50	1	0.11			1	0.20	1	0.17			7	0.17	4
	手足口病					10	1.00							10	0.24	5
	伝染性紅斑					3	0.30			1	0.17			4	0.10	-1
	突発性発しん	4	0.50	3	0.33	2	0.20	1	0.20	4	0.67	4	1.00	18	0.43	3
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ					3	0.30							3	0.07	-1
流行性耳下腺炎			1	0.11			1	0.20	1	0.17	4	1.00	7	0.17	-6	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	5	2.50											5	0.45	2
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00					1	1.00	2	0.33	-2
	無菌性髄膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

インフルエンザ (五類定点把握疾患) 第4回

昨シーズンの県全体の定点当たり報告数を見ると、2016年第6週をピークに減少しましたが、第10週には再び増加に転じ、報告数が増減しながら、第16週から減少しました(図)。この間の迅速診断キットによる型別報告数を見ると、A型は第6週をピークに減少しましたが、A型がピークを過ぎた後もB型は増加を続け、第13週にピークになりました。

このことから考察すると、第6週のピークは主にA型によるもので、第10週からの報告数の増加には、B型が関与していたと考えられます。

今シーズンの県全体の定点当たり報告数は、2016年第46週から増加傾向でしたが、2017年第6週にわずかに減少しました。県内の現在の流行は、主にAH3亜型インフルエンザウイルスによるものですが、今後、B型インフルエンザウイルスが流行すると報告数が再度増加するおそれがありますので、引き続き注意が必要です。

インフルエンザの予防には、**手洗い**、**マスク着用**、**咳エチケット**に加えて、室内の湿度への配慮も重要です。ウイルスは、湿度が高いと空気中の水滴にぶつかって落ちてしまいますが、湿度が低いと飛散しやすくなり、吸い込みやすくなるため、感染しやすくなります。また、空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。乾燥しやすくなる冬季に感染を防ぐため、加湿器などを使って**適切な湿度(50~60%)**を保つことも効果的です。

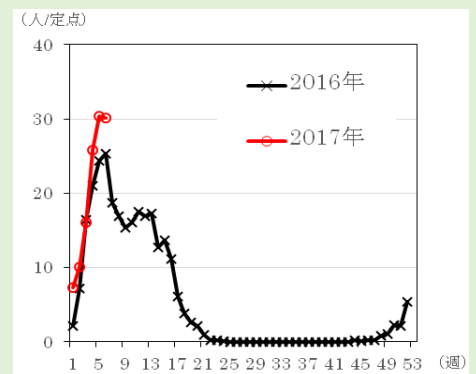


図 2016年、2017年の定点当たり報告数

### Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患) :  
東地方+青森市2人、弘前2人、三戸地方+八戸市1人、五所川原1人、上十三2人 (2017年計:36人)
- ・E型肝炎(四類全数把握疾患) : 東地方+青森市1人 (2017年計:2人)
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類全数把握疾患) : 東地方+青森市1人 (2017年計:1人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患) : 弘前1人 (2017年計:7人)

### Ⅳ 病原体検出情報

病原体検出情報はありませんでした。

### Ⅴ 県内インフルエンザ情報 (2016年第41週~2017年第6週)

- ・第6週の患者報告数は1962人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは1923人【A型:1911人、B型:12人】でした。

#### 保健所管内別報告数 (人)

保健所名	週	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6
東地方+青森市		0	0	0	0	0	0	0	4	11	18	23	24	72	99	193	244	370	435
弘前					1		4		3	6	12	11	37	63	128	211	370	336	290
三戸地方+八戸市					9	3	7	2	8	7	10	12	55	45	74	176	363	412	384
五所川原					4	1	1	3	2	17	55	51	115	90	143	138	143	160	223
上十三						2	1	8	35	30	47	39	74	149	164	229	343	330	346
むつ							1	3	1	1	2		41	47	35	81	189	335	284
合計		0	0	0	14	6	14	16	53	72	144	136	346	466	643	1028	1652	1943	1962

#### A型 (迅速診断キットによる型別) (人)

保健所名	週	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6
東地方+青森市		0	0	0	0	0	0	0	4	10	18	22	24	68	94	186	232	365	427
弘前					1		4		3	6	12	11	37	63	127	211	370	336	289
三戸地方+八戸市					9	3	7	2	8	7	10	12	54	44	73	168	333	362	364
五所川原					4	1	1	3	2	16	55	51	115	89	143	138	143	160	223
上十三						2	1	8	35	29	45	37	74	148	158	206	325	311	326
むつ							1	3	1	1	2		39	47	34	81	189	334	282
合計		0	0	0	14	6	14	16	53	69	142	133	343	459	629	990	1592	1868	1911

#### B型 (迅速診断キットによる型別) (人)

保健所名	週	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6
東地方+青森市										1		1		2		3	1	1	1
弘前																			1
三戸地方+八戸市													1		1	5	7	20	5
五所川原														1					
上十三										1				1	1	6	1	3	3
むつ													2		1			1	2
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3	4	3	14	9	25	12

#### 年齢区分別(人)

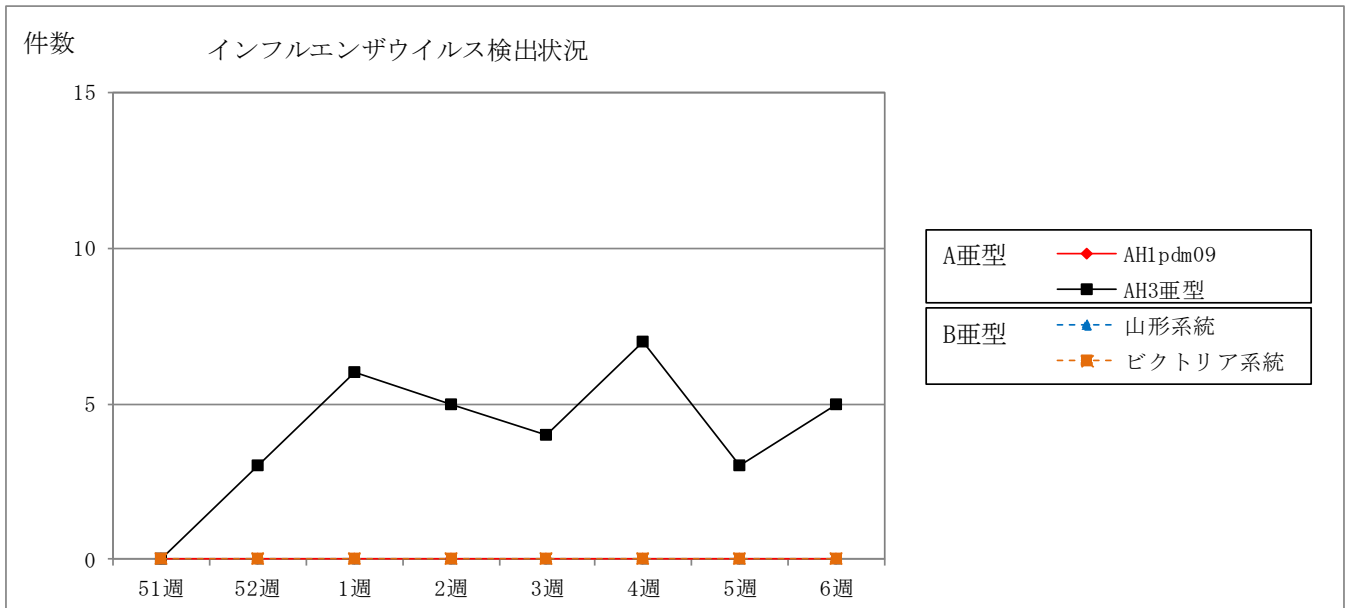
週	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6
~5ヶ月											1	2	2	2	4	5	6	4
~11ヶ月											2		7	6	13	9	15	15
1歳							1		1	1	2	5	6	18	35	42	62	64
2歳				3					4	3	4	6	14	20	27	39	46	87
3歳				1	1			2	4	8	7	7	11	21	51	53	77	99
4歳				1				1	3	1	3	3	7	25	36	65	83	81
5歳						1			1	5	3	14	13	22	40	77	68	83
6歳				3			1	2	5	7	2	8	8	23	42	47	92	84
7歳						1		4		5		4	13	11	35	78	83	98
8歳					1	1	1	2		5	4	9	6	8	38	80	93	94
9歳						1	1	5	2	5	5	7	6	9	46	85	96	95
10~14歳					1	1	5	10	18	32	24	57	32	49	157	428	475	431
15~19歳						4	1	6	8	35	13	29	32	40	97	162	152	115
20~29歳				3			1	3	1	7	8	44	58	67	59	56	67	93
30~39歳					1	1	1	2	5	8	11	30	61	64	88	104	117	108
40~49歳				1	1	1	1	5	13	4	14	29	50	53	62	90	124	123
50~59歳						1	1	5	4	8	11	23	44	59	58	71	78	95
60~69歳				1		2	1	5	2	5	10	23	44	50	46	55	90	78
70~79歳										3	4	20	23	48	38	51	66	49
80歳以上				1	1		1	1	1	2	8	26	29	48	56	55	53	66

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検査結果）

インフルエンザウイルス		2016		2017						直近5週間 合計	2016/2017 シーズン合 計
		51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週		
提出検体数		1	4	7	5	5	8	5	6 (1)	29 (1)	47 (1)
A 亜型	AH1pdm09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	うちタミフル耐性株										0
	AH3亜型	0	3	6	5	4	7	3	5	24	34
B 亜型	山形系統	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ビクトリア系統	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			3	6	5	4	7	3	5	24	35

注1) 2016/2017シーズンは2016年第36週（9/5～9/11）～2017年第35週（8/26～9/3）

注2) 提出検体数の（ ）内の数は、現在検査中の検体数



VII 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2017年第3週～2017年第6週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
3	H29.1.16 ~ H29.1.22	梅毒1人		アメーバ赤痢1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 梅毒2人			
4	H29.1.23 ~ H29.1.29	腸管出血性大腸菌 感染症1人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人				
5	H29.1.30 ~ H29.2.5	後天性免疫不全症 候群1人	梅毒1人	梅毒2人			
6	H29.2.6 ~ H29.2.12	E型肝炎1人 劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	梅毒1人				

VIII 結核(二類全数把握疾患) (2017年第3週～2017年第6週)

(人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
3	H29.1.16 ~ H29.1.22	6		3		1	
4	H29.1.23 ~ H29.1.29	5			1	1	
5	H29.1.30 ~ H29.2.5	1			2		1
6	H29.2.6 ~ H29.2.12	2	2	1	1	2	

IX 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第5週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	ジカウイルス感染症	チクングニア熱	つつが虫病
累積報告数	1728	21	66	1	26	12	3	1	1	32

分類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	23	1	1	5	89	98	21	127	80	15

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風
累積報告数	45	107	4	40	3	358	20	362	15	3

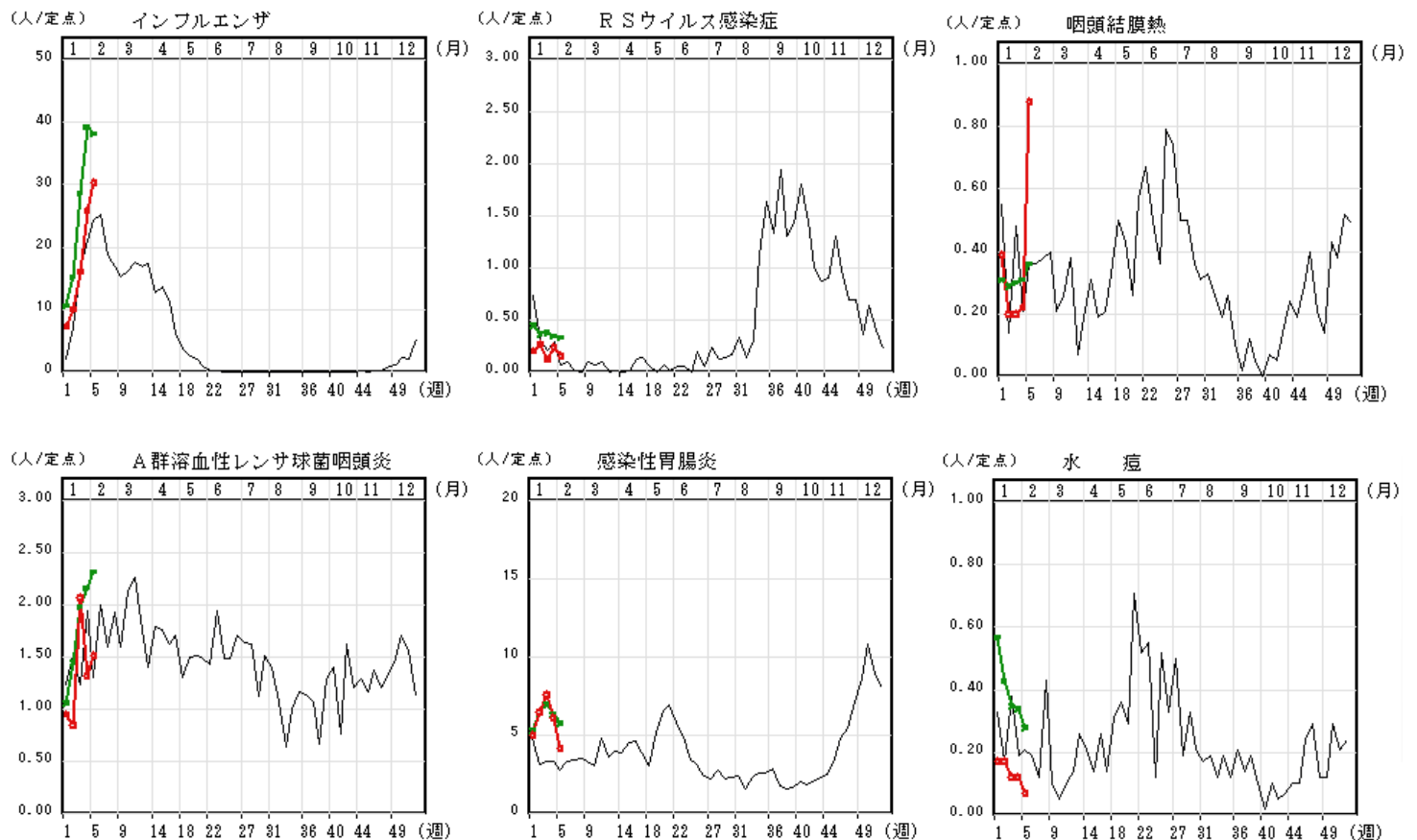
分類	五類	五類	五類	五類
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	9	6	15	2

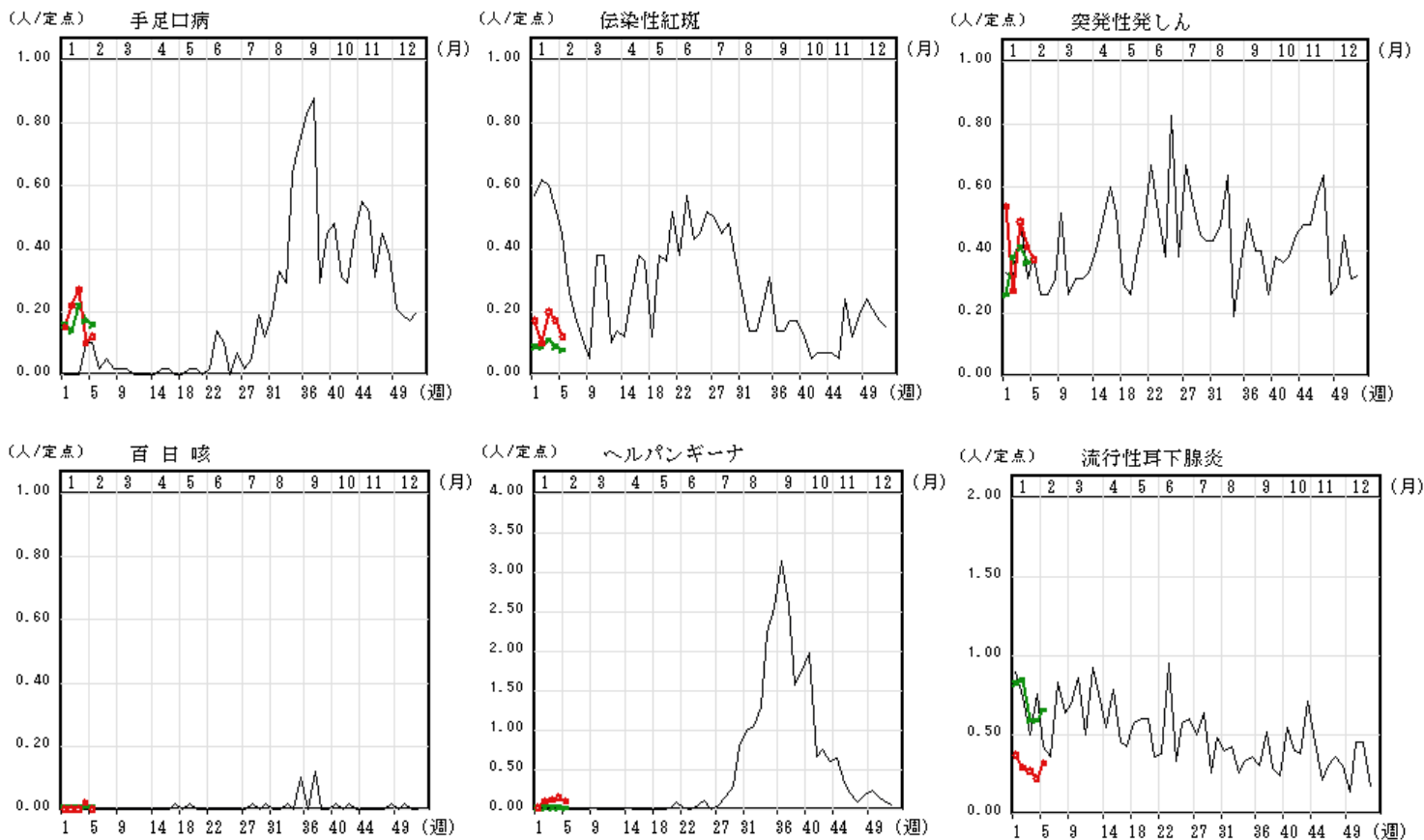
青森県（2017年第6週累計）

分類	二類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒
累積報告数	36	1	2	1	1	2	1	1	1	7

X インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（システムの不具合により、2017年の全国と青森県のグラフは第5週までの表示となっています）

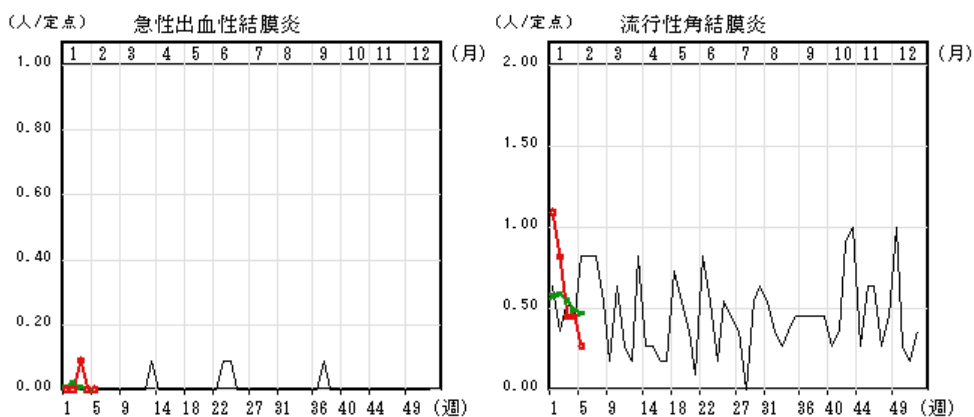
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





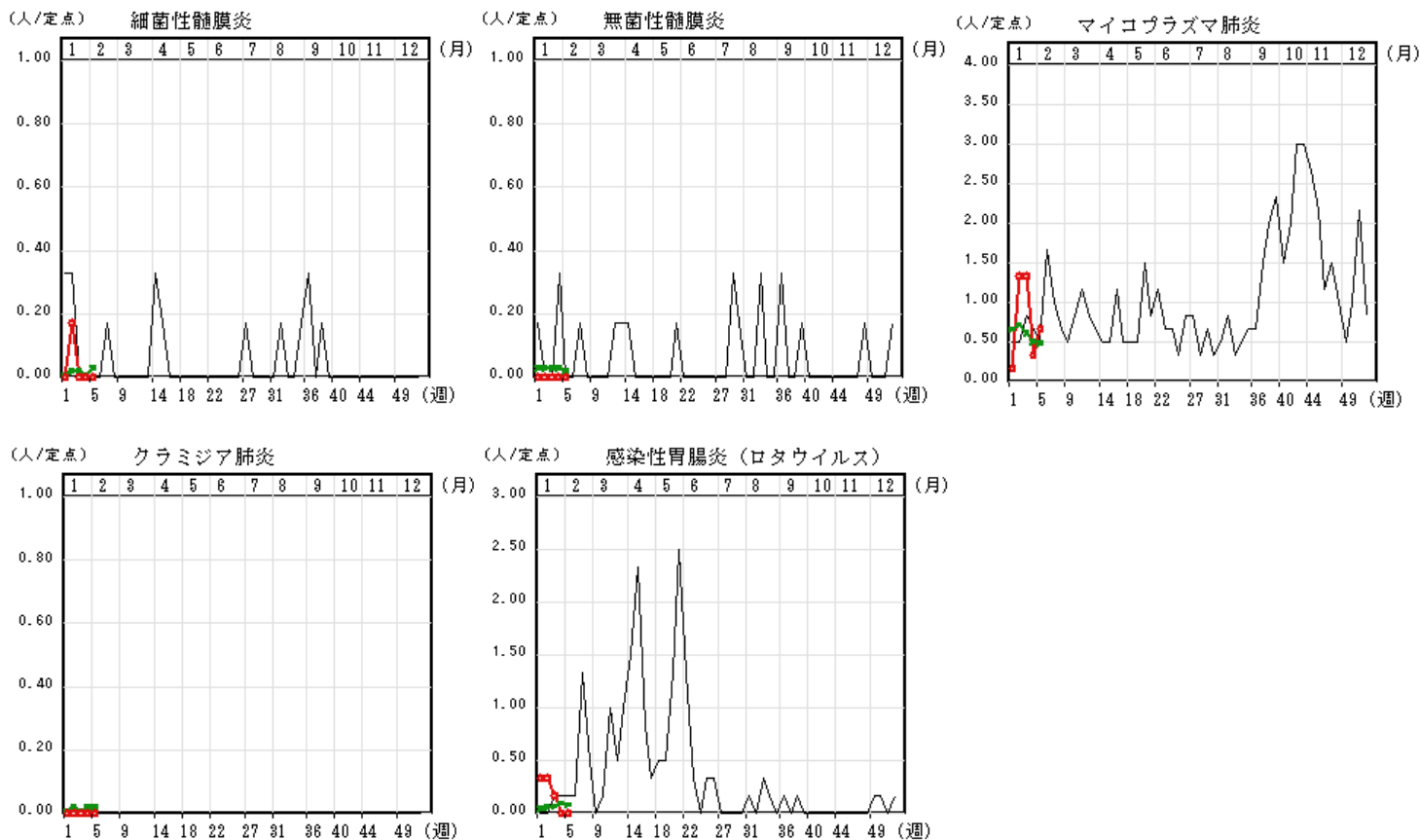
XI 眼科定点把握疾患週別推移 (システムの不具合により、2017年の全国と青森県のグラフは第5週までの表示となっています)

グラフの説明 **○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国**



XII 基幹定点把握疾患週別推移（システムの不具合により、2017年の全国と青森県のグラフは第5週までの表示となっています）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第6週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第6週	障害関係施設	43	青森市保健所

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月			2月		計 (施設別)
		1-4週	5週	6週	5週	6週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0			1
	発症者数	0	12	0			12
児童・婦人関係施設等	件数	1	1	0			2
	発症者数	13	45	0			58
障害関係施設	件数	0	0	1			1
	発症者数	0	0	43			43
その他施設	件数	0	0	0			0
	発症者数	0	0	0			0
計(月別)	件数	1	2	1			4
	発症者数	13	57	43			113